

鈴木学園の学生が献血に協力

コロナ禍による血液不足受け

学校法人鈴木学園専門
学校神奈川総合大学校
(厚木市恩名)の自動車
整備実習棟駐車場で11月
4日、学生による集団献
血が行われた。



献血バス2台が配車された

新型コロナウイルスの
影響で、献血に協力する
人が減り、このままの状
態が続くと輸血用の血液
が足りなくなる恐れがあ
ることから、神奈川県赤
十字血液センターからの
依頼を受け、「自分たち
にできることであれば協
力したい」と多くの学生
が声をあげ、献血に協力



献血をする学生

することになったとい
う。

この日は2台の献血バ
スが配車され、自動車整
備科の学生40人ほどが献
血を行った。初めて献血
をしたという学生は、
「とても良い機会になっ
た。恐怖感もなくあつと
いう間に終わったので、
またやりたいと思う」や
「協力できて良かった。有
意義な時間を過ごせ
た」と話した。献血の経
験がある学生は、「学校
でできたのが良かった」
と感想を話した。

同学園の鈴木朝子理事
長は、「学生たちが積極
的に動いてくれたので助
かった。今回初めて献血
バスを呼んだが、良い機

会を与えてもらった」と
話した。

全血液型の 在庫量がひっ迫

同センターでは、在宅
勤務や遠隔授業の推進に
より、献血に協力する企
業や団体が不足し、県内
の献血量の3分の1を担
う献血バスの配車先が激
減しているという。その
結果、平日を中心に県内
で1日に必要な献血者数
の900人に届かない日
が続いている。

同センター湘南事業所
の吉田杏子さんは、「こ
のような状況下で、鈴木
学園の学生さんたちが協
力してくれて本当に助
かった」と話した。